

平成31年4月12日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

電気こんろに関する事故（リコール対象製品）について

（詳細は次頁以降参照。）

- | | |
|--|----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故
（うちガスこんろ（都市ガス用）1件、カセットこんろ1件） | 2件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故
（うちライター（ガス注入式）1件、電気こんろ2件） | 3件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故
（うち自転車1件、発電機（携帯型）1件、食器乾燥機1件、
杖1件、送風機1件、椅子1件、電気衣類乾燥機1件、
テレビ（ブラウン管型）1件、シュレッダー1件） | 9件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び
消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会において、審議を予定して
いる案件
該当案件なし | |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 日立熱器具株式会社（現 日立グローバルライフソリューションズ株式会社）が製造した電気こんろについて（管理番号：A201900024）

※組み込み先のキッチンメーカーは不明

①事象について

日立熱器具株式会社（現 日立グローバルライフソリューションズ株式会社（法人番号：8010401057011））が製造した電気こんろ及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物が燃えたものと考えられます。

②再発防止策について

ミニキッチン等に組み込まれた電気こんろで、スイッチ部のつまみが飛び出ている形状のものについては、身体や荷物が知らないうちにつまみに触れ、スイッチが入ってしまい、火災に至る事故が発生しています。

このため、同社を含む電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー13社により「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」が設立され、2007年（平成19年）7月3日から新聞社告及び新聞折り込みチラシの配布を行うとともに、各地の消防局に協力要請を行う等、無償改修（スイッチ部のつまみにカバーを付ける）を実施しています（現在11社が継続実施。）。

③対象製品

対象製品の機種・型式及び各事業者名、問合せ先等は、別添のとおりです。

【リコール実施状況】

2007年（平成19年）7月3日からリコール（無償改修）を実施

対象台数、改修率

一口電気こんろ

改修対象台数 530, 401台（全社合計）

改修率 96.6%（2019年2月28日時点）

上面操作一口電気こんろ（今般事故の型式HT-1290を含む。）

改修対象台数 60, 969台（全社合計）

改修率 74.9%（2019年2月28日時点）

複数口電気こんろ

改修対象台数 147, 700台（全社合計）

改修率 70.2%（2019年2月28日時点）

＜リコール対象製品での事故件数＞

当該事故（管理番号：A201900024）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による２０１０年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第３５条第１項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2018年度	1	火災	2013年度	3	火災
2017年度	1	火災	2012年度	3	火災
2016年度	0	－	2011年度	5	火災
2015年度	3	火災	2010年度	3	火災
2014年度	0	－			

＜対象製品の外観＞

（写真はＨＴ－１２９０）



- スイッチつまみが上面にあり、飛び出している電気こんろで、スイッチパネルの表示部分に「COOKING HEATER、HITACHI」と表示されている製品（スイッチパネルの表示部分に型式の表示はありません。）。
- 改修対象の電気こんろは、スイッチ部のつまみが飛び出ているタイプになります。

④使用者への注意喚起

電気こんろの上や周辺に可燃物を置くことを避けていただくとともに、電気こんろのスイッチ部のつまみにカバーのない製品をお使いで、まだ当該つまみにカバーを付ける改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

使用者の方々及び対象製品を設置するアパート等を所有又は管理されている方々におかれては、事業者が行う訪問改修に御協力いただくようお願いします。

【問合せ先】

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

電 話 番 号：0120-256-557

受 付 時 間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：http://www.hitachi.co.jp/information/support_070720a/index.html

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会

電 話 番 号：0120-355-915

受 付 時 間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.denki-konro.jp/>

（参考）

消費者庁では、2014年（平成26年）6月11日に「お持ちではありませんか？リコールが行われている台所用機器」として、リコールが行われている電気こんろ、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、IH調理器、電気ケトルで火災等が発生した14製品について、リコール対象機種・型式を提示し、発煙・発火のおそれがあるとして注意を呼び掛けています。

ウェブサイト：https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/release/pdf/140611kouhyou_1.pdf

(2) 松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）が製造した電気こんろについて（管理番号：A201900028）

※組み込み先のキッチンメーカーは不明

①事象について

学校で火災報知機が鳴動したため確認すると、松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社（法人番号：5120001158218））が製造した電気こんろの上に置いていた可燃物を焼損する火災が発生していました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物が燃えたものと考えられます。

②再発防止策について

ミニキッチン等に組み込まれた電気こんろで、スイッチ部のつまみが飛び出ている形状のものについては、身体や荷物が知らないうちにつまみに触れ、スイッチが入ってしまい、火災に至る事故が発生しています。

このため、同社を含む電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー１３社により「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」が設立され、２００７年（平成１９年）７月３日から新聞社告及び新聞折り込みチラシの配布を行うとともに、各地の消防局に協力要請を行う等、無償改修（スイッチ部のつまみにカバーを付ける）を実施しています（現在１１社が継続実施。）。

③対象製品

対象製品の機種・型式、各事業者名、問合せ先等は、別添のとおりです。

【リコール実施状況】

２００７年（平成１９年）７月３日からリコール（無償改修）を実施。

対象台数、改修率

一口電気こんろ（今般事故の型式NK-1102を含む。）

改修対象台数 530, 401台（全社合計）

改修率 96.6%（2019年2月28日時点）

上面操作一口電気こんろ

改修対象台数 60, 969台（全社合計）

改修率 74.9%（2019年2月28日時点）

複数口電気こんろ

改修対象台数 147, 700台（全社合計）

改修率 70.2%（2019年2月28日時点）

＜リコール対象製品での事故件数＞

当該事故（管理番号：A201900028）発生以前の、当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2018年度	2	火災	2013年度	1	火災
2017年度	2	火災	2012年度	4	火災
2016年度	2	火災	2011年度	5	火災
2015年度	2	火災	2010年度	2	火災
2014年度	3	火災			

＜対象製品の外観及び確認方法＞

1) 対象製品の外観



（正面及び断面図）

（スイッチ部）

2) 対象製品の確認方法

スイッチ部のつまみを御確認ください。



改修前：カバー無し

改修後：カバー付き

- 「メーカー名」及び「品番」については、扉の内側やスイッチなどを御確認ください。
- 「品番」が表示されていない場合は、「メーカー名」又は「スイッチ部の形状」を御確認の上、下記問合せ先まで御連絡ください。
- 改修対象の電気こんろは、スイッチ部のつまみが飛び出ているタイプになります。

④使用者への注意喚起

電気こんろの上や周辺に可燃物を置くことを避けていただくとともに、電気こんろのスイッチ部のつまみにカバーのない製品をお使いで、まだ当該つまみにカバーを付ける改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

使用者の方々及び対象製品を設置するアパート等を所有又は管理されている方々におかれては、事業者が行う訪問改修に御協力いただくようお願いします。

【問合せ先】

パナソニック株式会社

電 話 番 号：０１２０－３９１－３９１

受 付 時 間：９時～１７時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：

<https://panasonic.co.jp/ap/info/important/cooking/index.html>

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会

電 話 番 号：０１２０－３５５－９１５

受 付 時 間：９時～１７時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.denki-konro.jp/>

（参考）

消費者庁では、２０１４年（平成２６年）６月１１日に「お持ちではありませんか？リコールが行われている台所用機器」として、リコールが行われている電気こんろ、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、ＩＨ調理器、電気ケトルで火災等が発生した１４製品について、リコール対象機種・型式を提示し、発煙・発火のおそれがあるとして注意を呼び掛けています。

ウェブサイト：https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/release/pdf/140611kouhyou_1.pdf

火災事故防止に向けて 改修のお願い

1977年から2004年までに製造したキッチンユニット等でご使用の電気こんろを探しています

身体や物が接触し、意図せずスイッチが「入」となる可能性がある構造であったために、電気こんろの上や周囲に可燃物が置かれていて、火災事故に至る危険性があります。



一口こんろ(前面操作) ※写真は富士工業製



一口こんろ(上面操作)
ブランド表示はHITACHIまたは、SUNWAVE



複数口こんろ(前面操作のみ)

対象製品 スイッチ部外観例



つまみが飛び出している電気こんろが対象です。

改修済み製品 スイッチ部外観例



周りにガードのあるつまみは改修済みです。引き続きご使用いただけます。

【対象製品】

形式	電気こんろメーカー(現社名)	電気こんろ品番
前面操作一口電気こんろ※1	LIXIL	SBE-101-100V, SBE-101-200V, FHS-31A, FHS-31B
	東芝ライフスタイル (旧東芝電気 東芝コンシューママーケティング株式会社)	BHP-111, BHP-121
	パナソニック アプライアンス社 (旧社名 松下電器産業株式会社)	NK-1101, NK-1102, NK-2101, NK-2102
	日立アプライアンス	HT-1250, HT-1550, HT-1250T
	ハウステック (旧社名 株式会社日立ハウステック)	HK-1102, HK-2102, HT-1250C
上面操作一口電気こんろ※1	富士工業	FH-31A, FH-31B (品番表記がなく、100V, 200Vのみを表示している製品もあります。)
	三菱電機	CR-1201, CR-1201A, CR-1202, CR-1501, CR-1501A, CR-1501B
	LIXIL	HT-1290, HT-1500
複数口電気こんろ※2	LIXIL	HT-1290, HT-1290T, HT-1500
	LIXIL	SBE-2G, SBE-3G, SBE-3T
	東芝ライフスタイル (旧東芝電気 東芝コンシューママーケティング株式会社)	HP-2000, HP-2000J, HP-2000T, HP-3000, UHP-S36A, UHP-S36AT, BHP-361T, BHP-365, BHP-461, BHP-461N, BHP-461W
	パナソニック アプライアンス社 (旧社名 松下電器産業株式会社)	NK-2220, NK-2251, NK-2252, NK-2308, HNT-2200 (※3), NK-2201, NK-2202, NK-2203, NK-2301, NK-2302, NK-2303, NK-2204, NK-2204CM, NK-2204M, NK-2304, NK-2305, NK-2307
	日立アプライアンス	HT-3000G, HT-3010G, HT-3310, HT-3510, HT-3511A, HT-4510, HT-D3451, HT-D4451, HT-D4451SS
	富士工業	FH-62, FH-621, FH-63, NSH-621, SBA-201, SBA-211, SBA-211A, SBA-301, SBA-311, SBA-311L

※1、小形キッチンユニット(冷蔵庫付きタイプ・扉仕様タイプ等)もあります。※2、据置型・ビルトイン型があります ※3、ブランド名はHEC

上記電気こんろは、下記協議会加盟キッチンユニットメーカー他のキッチンまたはキッチンテーブル等に組み込まれている場合があります。

【小形キッチンユニット用電気こんろ協議会加盟キッチンユニットメーカー】

クリナップ株式会社、三協立山株式会社、タカラスタンダード株式会社、パナソニック株式会社 エコソリューションズ社

【小形キッチンユニット用電気こんろ協議会加盟会社名・お問い合わせ先(五十音順)】

誠に申し訳ありませんが電気こんろのスイッチを無償で改修いたしますので、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

クリナップ株式会社
0120-126-174 <http://cleanup.jp/>

東芝ライフスタイル株式会社
0120-668-401 <https://www.toshiba-lifestyle.co.jp/>

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
0120-116-484 <http://panasonic.co.jp/es/>

三菱電機株式会社
0120-099-506 <https://www.mitsubishielectric.co.jp/>

三協立山株式会社
0120-202-436 (旧社名 三協立山(アルミ)株式会社) <http://www.st-grp.co.jp/>

株式会社ハウステック
0120-524-852 (旧社名 株式会社日立ハウステック) <http://www.housetec.co.jp/200707/kitchen.html>

日立アプライアンス株式会社
0120-256-557 <http://www.hitachi-ap.co.jp/>

株式会社 LIXIL
0120-190-530 (旧製造会社 サンエーブ工業株式会社) <https://www.lixil.co.jp/>

タカラスタンダード株式会社
0120-200-805 <http://www.takara-standard.co.jp/>

パナソニック株式会社 アプライアンス社
0120-391-391 (旧社名 松下電器産業株式会社) <https://panasonic.co.jp/ap/index.htm>

富士工業株式会社
0120-500-621 <http://www.fjie.co.jp/>

フリーダイヤル受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

お客様からご提供いただきました氏名・住所・電話番号などの個人情報は、当該製品の点検と改修目的以外には使用いたしません。

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会 0120-355-915 メールアドレス dkk.jimu@denki-konro.jp

<http://www.denki-konro.jp/>



【本発表資料の問合せ先】

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担 当：鈴木、柳川、牧野

電 話：03-3507-9204（直通）

F A X：03-3507-9290

経済産業省産業保安グループ製品安全課製品事故対策室

担 当：橋爪、高橋

電 話：03-3501-1707（直通）

F A X：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201900025	平成31年3月26日	平成31年4月8日	ガスこんろ(都市ガス用)	TN52AV75C-3 (タカスタン ダード株式会社 ブランド)	パロマ工業株式会社 (現 株式会社パロ マ)(タカスタン ダード株式会社 ブランド)	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。当該製 品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	千葉県	
A201900029	平成30年5月31日	平成31年4月9日	カセットこんろ	ZA-5HP(アイ・ システムネット ワーク株式会社 ブランド)	株式会社旭製作所 (アイ・システムネット ワーク株式会社ブラン ド) (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼 損する火災が発生した。当該製品に起因する のか、他の要因かも含め、現在、原因を調査 中。	兵庫県	平成30年6月7日に 消費者安全法の重 大事故等として公表 済 事業者が重大製品 事故として認識した のは平成31年4月3 日

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201900022	平成30年10月12日	平成31年4月8日	ライター(ガス注入 式)	MF213	SHOURYU JAPAN 株式会社 (輸入事業者)	火災	異臭がしたため確認すると、当該製品及び周 辺を焼損する火災が発生していた。現在、原 因を調査中。	山口県	平成30年11月1日に 消費者安全法の重 大事故等として公表 済 事業者が重大製品 事故として認識した のは平成30年11月 報告書の提出期限 を超過していること から、事業者に対し 厳重注意
A201900024	平成31年3月14日	平成31年4月8日	電気こんろ	HT-1290(組み 込み先のキッチン メーカーは不明)	日立熱器具株式会社 (現 日立グローバル ライフソリューションズ 株式会社)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し た。 事故の原因は、現在、調査中であるが、身体 等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入 り、当該製品の上に置かれていた可燃物など が燃えたものと考えられる。	兵庫県	平成19年7月3日か ら事業者が共同して リコールを実施(特 記事項を参照) 改修率:74.9%(上 面操作一口電気こ んろ合計)
A201900028	平成31年3月28日	平成31年4月9日	電気こんろ	NK-1102(組み 込み先のキッチン メーカーは不明)	松下電器産業株式会 社(現 パナソニック 株式会社)	火災	学校で火災報知機が鳴動したため確認する と、当該製品の上に置いていた可燃物を焼損 する火災が発生していた。 事故の原因は、現在、調査中であるが、身体 等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入 り、当該製品の上に置かれていた可燃物が燃 えたものと考えられる。	東京都	製造から30年以上 経過した製品 平成19年7月3日か ら事業者が共同して リコールを実施(特 記事項を参照) 改修率:96.6%(一 口電気こんろ合計)

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201900021	平成31年2月9日	平成31年4月8日	自転車	重傷1名	当該製品で走行中、前フォークが破断し、転倒、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは平成31年3月29日
A201900023	平成30年9月8日	平成31年4月8日	発電機(携帯型)	CO中毒死亡1名	一酸化炭素中毒により1名が死亡し、現場に当該製品があった。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	北海道	
A201900026	平成30年6月29日	平成31年4月9日	食器乾燥機	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	茨城県	平成30年7月12日に消費者安全法の重大事故等として公表済 事業者が重大製品事故として認識したのは平成31年3月29日
A201900027	平成31年2月17日	平成31年4月9日	杖	重傷1名	使用者(70歳代)が当該製品を使用中、当該製品が折れ、転倒、胸部を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは平成31年4月1日
A201900030	平成29年8月6日	平成31年4月9日	送風機	火災	施設で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは平成31年4月4日
A201900031	平成31年2月14日	平成31年4月9日	椅子	重傷1名	事務所で当該製品に着座中、当該製品の脚部が破損し、転倒、頸部を負傷した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成31年3月28日
A201900032	平成31年3月6日	平成31年4月9日	電気衣類乾燥機	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは平成31年4月8日
A201900033	平成31年3月22日	平成31年4月9日	テレビ(ブラウン管型)	火災	公的機関で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	鳥取県	製造から25年以上経過した製品

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201900034	平成30年7月2日	平成31年4月10日	シュレッダー	火災	店舗で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	北海道	事業者が重大製品事故として認識したのは平成31年4月9日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会において審議を予定している案件
該当案件なし

ライター（ガス注入式）（管理番号:A201900022）

